

## 九州労災病院治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2021年 12月 13日 17:20 ~ 18:15
開催場所	九州労災病院 4F 会議室
出席委員名	松延 知哉 長島 章 高橋 陽子 田中 誠一 市村 行典 小野 憲昭(外部委員) 金澤 耕介 西 真一郎 浅野 嘉延(外部委員) 平瀬 伸尚 岳田 喜久美
備考	コロナウイルスに伴う特例措置に基づいて、外部委員はWeb会議システムにより参加。
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p><b>議題①：アステラス製薬株式会社の依頼によるFezolinetant (ESN364)の第II相試験</b> 治験実施計画書等に基づき、治験実施の妥当性について審議した。 審議結果:承認</p> <p><b>議題②：ひろさきLI株式会社の依頼による膝関節における限局性の外傷性軟骨損傷及び離断性骨軟骨炎を対象とした自己軟骨細胞加工製品(IK-01)の有効性及び安全性に関する検証的治験</b> 治験製品概要書の改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認</p> <p><b>議題③：大正製薬株式会社の依頼による関節リウマチ患者を対象としたTS-152の継続長期試験</b> 安全性情報、治験実施計画書の改訂、治験薬概要書補遺の更新、説明文書及び同意文書の改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認</p> <p><b>議題④：ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第2b/3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較、多施設共同試験</b> 安全性情報、治験薬概要書の改訂について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認</p> <p><b>議題⑤：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるBMS-986177の第2相試験</b> 安全性情報について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認</p>